

平成25年行政事業レビューシート

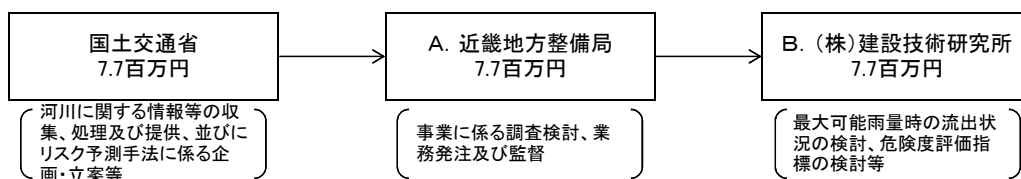
(国土交通省)

事業名	局地的大雨におけるリスク監視・予測手法検討経費		担当部局庁	水管理・国土保全局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H23/H24		担当課室	河川計画課河川情報企画室		室長 内藤正彦		
会計区分	一般会計		政策・施策名	4 水害等災害による被害の軽減 12 水害・土砂災害の防止・減災を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水防法(第10条、第16条)		関係する計画、通知等	国土交通省技術基本計画、社会資本整備重点計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、増加する集中豪雨や局所的な大雨(いわゆるゲリラ豪雨)による水害や土砂災害等に対し、適切な水防活動や避難行動を支援することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地形データや過去の災害履歴等をあらかじめ分析し、降雨時にはリアルタイムの降雨状況から直接リスクを予測するための簡便な手法を検討するとともに当該リスク情報を効果的に提供する方法について検討を行うものである。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		10	10			
		繰越し等		-	-			
		計		10	10			
	執行額		9	9				
	執行率(%)		94.6%	96.1%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (24年度)
	降雨によるリスクを予測するための簡便な手法やその提供方法の検討を対象とするものであり、定量的な成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。			達成度				
	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
降雨による災害リスクを簡便に表現する手法等を整理したものであり、定量的な活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。							()	
単位当たりコスト			算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
		-	-					
	計	-	-					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	近年、増加する集中豪雨や局所的な大雨(いわゆるゲリラ豪雨)による水害や土砂災害等に対し、国民の安全を確保するための検討であり、優先度が高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定、競争性の確保に問題はなく、また単位あたりのコストも妥当である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業の成果については事業目的に見合ったものであることを確認している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	予算の執行状況等について、地方整備局を通じて確認し、事業の効果的・効率的な実施に努めている。また、資金の流れの検証が出来るよう、契約額・支出先の契約方式等を把握している。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
抜本的な改体の	平成24年度で事業を廃止。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—	平成24年度で廃止					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	—	平成23年	1011	平成24年	0198	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【簡易公募型プロポーザル方式】



諸謝金
0.8百万円

委員等旅費
0.9百万円

職員旅費
0.2百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 近畿地方整備局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	局地的大雨におけるリスク監視・予測手法検討	8			
計		8	計		0
B. (株)建設技術研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	局地的大雨におけるリスク監視・予測手法検討	8			
計		8	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	近畿地方整備局	局地的大雨におけるリスク監視・予測手法検討	8	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)建設技術研究所	局地的大雨におけるリスク監視・予測手法検討	8	2	100%